



令和7年度 地域協働のための研修会

外国人ケア労働者と 共に暮らすまちづくり

高齢者人口の増加や生産年齢人口の減少が進み、人材の確保は厳しくなる中、「外国人福祉人材」に期待が集まっています。外国人ケア労働者
は福祉現場で着実に増加しつつありますが、日本で働くにあたって、ま
た施設側が受け入れるにあたり悩みもあります。外国人ケア労働者の現
状を学びつつ、受入施設や地域で何が求められているのか、講師・受講
者と一緒に考えます。

11月5日(水) 13:30~16:30

大阪府社会福祉会館503

定員

50名(先着順)

※研修の詳細は裏面をご覧ください。



〈お問い合わせ〉

(福) 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ(渡邊・石井) ☎ 06-6762-9035

〈主催〉福祉と人権の研修ネットワークおおさか

(構成団体)

(福) 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
(一財) 大阪府地域福祉推進財団

「福祉と人権の研修ネットワークおおさか」が大阪府の研修委託事業者として実施いたします

研修プログラム（予定）

コーディネーター：石川 久仁子 氏
（大阪人間科学大学 教授）



【講義】

安里 和晃 氏（京都大学 准教授）

外国人福祉人財の受け入れ制度としては、EPA（経済連携協定）や技能実習など複数あり、受け入れの流れも制度によって異なり複雑です。外国人福祉人財の現状やEPAなどについてご講義いただきます。

【実践報告①】

松浦 聡 氏（合同会社Omusubi 代表）

日本語教師、介護福祉士等による日本語学習、介護福祉士国家試験対策、そしてカルチャーショック（異文化不適應）へのケアなど多岐にわたるサービス実践から、外国人福祉人財にこういったサポートが求められているかなどについてご報告いただきます。

【実践報告②】

ノ オンビン 氏

（地域密着型特別養護老人ホーム 大阪老人ホームゆずり葉 生活相談員兼介護職員）

日本の施設で働くやりがいや、日常生活を送るうえでのサポート・困りごとなどについて、ご自身の経験を踏まえながら、外国人ケア労働者の視点からご報告いただきます。

対象

福祉施設（社会福祉法人等）、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市町村担当者、福祉事務所等職員（施設種別問わず）、テーマに関心がある方等

定員

50名（先着順）

受講料

3,000円

研修にお申込みされるにあたってのお願い

- ・お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。
また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風など自然災害等により、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。中止または延期の場合は、速やかにご連絡させていただきます。

申込締切

10月27日（月）

※受講決定された方には締め切り後1週間以内に受講決定メールを送信します。

※受講料の振込先、期日等は受講決定メールをご参照ください。

研修申込は
コチラから